

長野県食育推進計画（第3次）について（たたき台）

食育の課題	
(1) 食を育む 環境づくり	① 親世代への食育の関心を高める必要がある。
	② 多くの県民が食育の活動に興味を持ち、参加する必要がある。
	③ 市町村計画の策定支援を進める必要がある。
(2) 未来を担う 子どもの食育	④ 保護者や家庭に対し、家族形態等に沿った多種多様な働きかけを行う必要がある。
	⑤ 児童生徒が、バランスの良い食事を準備できるスキルを身に付ける必要がある。
(3) 健康づくりと食育	⑥ 若者の朝食欠食への対策が必要である。
	⑥ 働き盛り世代の健康な食生活への支援が必要である。
	⑦ 高齢期の低栄養を予防する保健事業の実施が必要である。
	⑧ 健康な食事（減塩・野菜摂取・適正エネルギー等）の普及・啓発が必要である。
	⑨ よく噛むことへの意識付けと高齢者の摂食嚥下機能の維持についての普及・啓発が必要である。
(4) 信州の食の 理解と継承	⑩ 食文化・郷土食等の継承への支援が必要である。
	⑪ 「食べ物を残すことをもったいないことだ」と思えるような取組の継続が必要である。
	⑫ 食品ロス等の排出量削減に向けた取組の推進が必要である。

長野県食育推進計画
(第3次)の柱「案」

1 若い世代を対象とした食育

2 世界一の健康長寿を目指す食育

3 食の循環と、
地域の食を意識した食育

4 信州の食を育む環境づくり

